

分野	景観事例紹介
現職名	NPO法人 川越蔵の会 代表理事 川越一番街商業協同組合 監事 川越町並み委員会 副委員長 川越商工会議所 常議員 陶舗やまわ 代表取締役
アドバイス できる分野	川越蔵の会による景観保全活動の事例紹介
経歴等	(平成元年) 川越一番街商業協同組合の「町づくり規範」に沿って自宅・店舗 「陶舗やまわ」を改装し彩の国さいたま景観賞を受賞 (平成13年) 川越蔵の会4代目会長に就任 (平成14年) 川越蔵の会をNPO法人化し、NPO法人川越蔵の会代表理事と なる (平成17年) 第48回埼玉文化賞 社会文化部門受賞(埼玉新聞社制定) 埼玉県景観アドバイザー就任(任期平成23年8月末) (平成18年) 川越一番街商業協同組合の理事長に就任(任期平成20年3月末) (平成19年) 経済産業省の中小企業サポーターに就任(任期平成20年8月末) (平成21年) 社団法人小江戸川越観光協会より功労者賞を受賞 (平成22年) 地域づくり総務大臣表彰団体賞受賞
活動実績	川越蔵の会による景観保全活動 川越一番街商店街と大正ロマン商店街の委員会で町並み形成に対するアドバイ スを行っている。伝統的建造物の修理等に際し、川越市教育委員会より委託を受 け調査を行う。毎年11月3日に川越太郎法要お茶会を開催。蔵詩句大賞(景観 賞)の授与。国土交通省の直轄調査である、都市再生モデル事業(平成15年度) を受託する。内閣府の市民活動団体等支援総合事業(平成17年度)を受託する。 川越灯りと音と文化の祭典のライトアップ部会を担う(平成25年)
ホームページ	http://www.kuranokai.org/
先生から一言	「住民が主体となった町づくり」「北部商店街の活性化による景観保存」「町並み 保存のための財団形成」をスローガンに掲げて1983年に川越蔵の会が発足しま した。今まで蔵の会がどのように地元の人達や、専門家と連携をとり町づくりに 係わっていったのか。蔵造りの建物が多く残っている川越一番街商店街、そこに 建つ伝統的建造物の所有者であり、そこに生まれ育った住民として、さらには、 商店主としての立場、そして、川越蔵の会の会長として市民活動をおこなってき た者の立場として、川越一番街の昭和30年代までの隆盛期、その後の没落期、 そして歴史的景観を生かした町づくりに取り組むことにより復活した町の経緯 を紹介させていただきます。